

シンガポールの地域社会を支える施設とは？ ～コミュニティクラブを視察～

シンガポール事務所

シンガポールでは、様々な地域活動や地域サービスが展開される場として、国内の各地域にコミュニティセンター/コミュニティクラブ（Community Centre / Community Club、両者を合わせて以下 CC）が設置されています。CC は地方自治体の無いシンガポールにおいて、重要な地域拠点として政府と住民をつなぎ、日本の公民館・市民センターのように地域住民の市民活動の場や行政サービスの窓口としての役割を担っています。

2014 年現在で、シンガポール国内には 107 の CC があり、施設ごとに異なる設備やサービスが提供されています。このたび、そのうちの一つである Jurong Green Community Club（以下、JGCC）を訪問する機会を得ましたので報告します。



JGCC ロビー入口

1 CC の概要

CC は、人民協会（People's Association、以下 PA）^{注1}の下で活動を行う組織で、PAが地域住民の連帯感や結束を推進するための活動の場となっています。設備としては、図書館をはじめ、ダンススタジオや多目的ホール、体育館、コンピュータールーム、調理室、塾などを備えており、地区によってはプールや飲食店、保育園や学童クラブ、福祉センターも併設されていて、趣味や教養・文化講座、スポーツ活動からボランティア活動、青少年リーダー育成活動など、住民の関心とニーズに応えた多様なプログラムが常時提供されています。このようなプログラムの他、バラエティ豊かな地域イベントを開催することで、地域住民に地域への帰属意識を育成させ、多民族社会であるシンガポールにおいて異なる民族間の融和を図っています。また、区域外の住民でも各地の CC を利用することができ、永住者や外国人も同様に利用できることから、広くシンガポール住民に開かれている施設となっています。



CC 施設で音楽演奏の練習をする住民

^{注1} 社会、教育、文化、ボランティア活動を通して、団結した活力ある文化的な国づくりを目指すとともに、地域の住民と政府との連帯を強めていく組織として 1960 年に設立された法定機関。

2 充実した設備を誇る JGCC

JGCC は 1990 年に設立され、CC の中では設備も充実しており、各種の講座室の他、会議室、バドミントンやクラシックコンサートなどで利用する多目的ルーム、ラウンジや個室など多種多様なカラオケ設備、屋上には BBQ スペースやカーリングスペースなどもあり、多岐に亘る設備を備えています。近隣の 10,000 戸の住民に対して各種のサービスを提供しており、文化・スポーツ・教養などの様々な講座については毎月内容を更新しながらプログラムが組み立てられています。住民からの要望に応じて新しく講座やコースを開設することもあり、2015 年 2 月に提供された内容では、最近新しく設立された韓国語や K-POP の講座、また日本語講座も開催されています。



カラオケラウンジを利用する利用者



多目的ルームでバドミントンを楽しむ利用者



屋上に設置されたカーリングスペース

3 バラエティ豊かな地域イベントの開催

JGCC では、全ての地域住民が関心を持てるようバラエティ豊かな地域イベントも開催しています。例えば、中華系民族の祭事である中秋節やチャイニーズニューイヤー、ムスリムが行う断食が明けた際の食事会や、ヒンドゥー教徒の正月であるディーパバリなど、異なる民族・宗教の住民同士が参加できるようそれぞれの祭事を祝うイベントが毎年開催されています。このような恒例のイベントの他、毎年なるべく新しいイベントを行うようにもしており、さらに JGCC と同じ Jurong 地区にある近隣 5 つの CC が、合同で大きなイベントを開催することもあるようです。

JGCC が抱える課題の一つとして、働き盛りの世代（20～40 歳）の利用率・参加率の低さが挙げられます。この課題に対応するために、ペット愛好家向けのイベントを開催したり、2014 年のサッカーワールドカップの際は、大型スクリーンを設置し無料のビューイングを実施するなど、全ての住民に足を運んでもらうよう取り組んでいます。

4 利用者の利便性向上に向けて

シンガポール住民は全ての CC を利用することが可能ですが、PA が開設している「onePA」のウェブサイトから入会登録すれば、全ての CC の講座申込・施設利用申請・イベント参加登録・サークルなど趣味グループへの参加登録をすることができます。

さらに、CC の会員になることで、割引されたレートで施設を利用することができるようになります。会員カードとして「PAssion Card」というものを申請することができますが、このカードの利用用途は多岐に亘ります。CC を会員レートで利用することができるのはもちろん、ez-link^{注2}としての機能や、大手スーパーマーケットやドラッグストアなどでのポイントサービスなど、CC 外でも様々な特典・サービスを受けることができます。



PAssion Card

5 地域住民に必要不可欠な存在

CC では、PA から派遣されるスタッフの他に、コミュニティクラブ運営委員会（Community Club Management Committee）というボランティアによる委員会が設置され、スタッフや住民と協力しながら CC の運営に携わっています。また CC の中には様々な委員会（マレー系住民の委員会、インド系住民の委員会、女性委員会など）があり、様々な角度からの住民の意見を吸い上げ、プログラムの検討や予算の策定などを行っています。このような協働体制の下で運営されている CC では、住民に対してきめ細かなサービスが提供されています。ある調査によると、シンガポール人の約8割が CC を利用しており、利用満足度も高いという結果が出ており、CC は地域住民にとって欠かせない存在となっていることが窺えます。

（関根所長補佐 新潟市派遣）

^{注2} 日本の「Suica」などのように、シンガポールの公共交通機関で利用できるデビットカード。公共交通機関だけでなく、スーパーやコンビニその他様々な場面で電子マネーとして利用することができる。